



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月11日

上場会社名 三井金属エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1737 URL <https://www.mesco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理本部長 (氏名) 伊藤 直之 TEL 03-5610-7833
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	3,472	△50.0	△274	—	△263	—	△187	—
2021年3月期第1四半期	6,941	87.2	95	—	122	—	86	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 △56百万円 (—%) 2021年3月期第1四半期 △8百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△14.65	—
2021年3月期第1四半期	6.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	17,766	13,523	76.1
2021年3月期	18,946	14,001	73.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 13,523百万円 2021年3月期 14,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,330	△33.3	△660	—	△630	—	△420	—	△32.88
通期	27,300	10.9	590	△39.5	660	△38.1	450	△38.3	35.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期1Q	12,780,000株	2021年3月期	12,780,000株
2022年3月期1Q	8,025株	2021年3月期	8,025株
2022年3月期1Q	12,771,975株	2021年3月期1Q	12,772,055株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく変わる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、半導体不足の影響で一部の業種の景況感は悪化したものの、海外経済の回復を背景に輸出や設備投資は堅調に推移しました。その一方で、消費関連の非製造業では、度重なる活動制限の影響で、低調な動きが続いており、総じて、国内景気は持ち直すも、一部で力強さを欠く動きとなりました。

建設業界においては、防災、減災などの国土強靱化関連工事が底堅く推移し、経済活動の再開で民間工事も増加傾向となっておりますが、海外工事は、新型コロナウイルスの変異株の影響などで各国の感染状況にばらつきがあり、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、3,472百万円（前年同四半期比 50.0%減）となりました。

損益面では、減収により、営業損失274百万円（前年同四半期は営業利益95百万円）、経常損失263百万円（前年同四半期は経常利益122百万円）となりました。

また、法人税等を控除した親会社株主に帰属する四半期純損失は、187百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益86百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

①エンジニアリング事業

当第1四半期連結累計期間は、前期繰越の大型工事案件が少なく、また、一部の工事案件の進捗に遅れが発生したことなどから、売上高は、2,650百万円（前年同四半期比 56.4%減）となりました。

この減収に伴い、経常利益は、28百万円（前年同四半期比 91.2%減）となりました。

②パイプ・素材事業

前年同四半期より、軍事施設関連の大型工事案件が減少したことなどから、売上高は、839百万円（前年同四半期比 11.2%減）となりました。

この減収に伴い、経常損失は、87百万円（前年同四半期は経常損失27百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較して、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより、1,180百万円減の17,766百万円となりました。

負債については、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより、702百万円減の4,242百万円となり、また、純資産は477百万円減の13,523百万円となりました。

この結果、自己資本比率は76.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月11日に公表致しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,948,935	3,019,184
受取手形・完成工事未収入金等	6,294,115	4,682,130
未成工事支出金	899,557	1,211,905
商品及び製品	121,300	217,641
材料貯蔵品	229,060	275,270
前渡金	9,195	45,019
預け金	6,019,836	5,709,049
その他	159,984	257,239
貸倒引当金	△8,241	△5,658
流動資産合計	16,673,745	15,411,783
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	593,435	593,889
機械・運搬具	1,941,942	1,958,482
工具器具・備品	961,176	975,766
土地	1,099,000	1,099,000
減価償却累計額	△3,093,683	△3,120,999
有形固定資産合計	1,501,871	1,506,139
無形固定資産		
ソフトウェア	34,502	39,349
ソフトウェア仮勘定	872	—
その他	7,974	7,974
無形固定資産合計	43,348	47,324
投資その他の資産		
投資有価証券	70,033	70,651
繰延税金資産	406,906	491,442
退職給付に係る資産	97,389	85,606
その他	156,783	157,014
貸倒引当金	△3,925	△3,925
投資その他の資産合計	727,189	800,791
固定資産合計	2,272,409	2,354,254
資産合計	18,946,155	17,766,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,946,614	1,694,706
未払法人税等	257,383	29,149
未成工事受入金	520,543	626,073
賞与引当金	380,800	192,900
完成工事補償引当金	144,000	112,200
工事損失引当金	—	1,600
その他	574,131	455,625
流動負債合計	3,823,473	3,112,254
固定負債		
退職給付に係る負債	1,074,985	1,083,791
繰延税金負債	146	154
その他	46,200	46,200
固定負債合計	1,121,332	1,130,146
負債合計	4,944,805	4,242,400
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,085,350	1,085,350
資本剰余金	684,400	684,400
利益剰余金	12,461,561	11,853,015
自己株式	△6,597	△6,597
株主資本合計	14,224,713	13,616,167
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△16,700	△12,259
為替換算調整勘定	△213,088	△84,751
退職給付に係る調整累計額	6,424	4,480
その他の包括利益累計額合計	△223,363	△92,529
純資産合計	14,001,349	13,523,638
負債純資産合計	18,946,155	17,766,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高		
完成工事高	6,368,072	3,012,843
兼業事業売上高	573,432	459,641
売上高合計	6,941,505	3,472,484
売上原価		
完成工事原価	5,792,066	2,722,519
兼業事業売上原価	476,162	386,411
売上原価合計	6,268,228	3,108,931
売上総利益		
完成工事総利益	576,006	290,323
兼業事業総利益	97,269	73,230
売上総利益合計	673,276	363,553
販売費及び一般管理費	577,649	637,623
営業利益又は営業損失(△)	95,627	△274,069
営業外収益		
受取利息	16,892	14,895
持分法による投資利益	7,015	—
雑収入	5,129	3,910
営業外収益合計	29,038	18,806
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	1,671	6,529
持分法による投資損失	—	1,208
貸貸収入原価	294	22
雑支出	333	129
営業外費用合計	2,307	7,897
経常利益又は経常損失(△)	122,358	△263,161
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	122,358	△263,161
法人税等	36,238	△76,090
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,119	△187,070
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	86,119	△187,070

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,119	△187,070
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	10,561	4,440
為替換算調整勘定	△96,563	126,509
退職給付に係る調整額	△3,285	△1,943
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,596	1,826
その他の包括利益合計	△94,883	130,834
四半期包括利益	△8,764	△56,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,764	△56,236

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

当社及び連結子会社は、従来は請負工事契約に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる工事には工事進行基準を、それ以外の工事には工事完成基準を適用しておりました。これを当第1四半期連結会計期間より、一定の期間にわたり充足される履行義務は、期間がごく短い工事を除き、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識し、一時点で充足される履行義務は、工事完了時に収益を認識することとしております。期間がごく短い工事については、代替的な取り扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益認識を認識することとしております。なお、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、見積総原価に対する発生原価の割合(インプット法)で算出しております。

商品又は製品の販売においては、約束した財の支配が顧客に移転した時点で、当該財と交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。なお、国内販売では収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。また、輸出版売では、主にインコタームズ等で定められた貿易条件に基づきリスク負担が顧客に移転した時に収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の当期首残高へ与える影響はありません。また、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準等の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,049,949	891,555	6,941,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,800	53,489	83,289
計	6,079,749	945,045	7,024,794
セグメント利益又は損失(△)	323,102	△27,095	296,007

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	296,007
全社費用(注)	△173,649
四半期連結損益計算書の経常利益	122,358

(注)全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	エンジニアリング事業	パイプ・素材事業	合計
売上高			
一時点で移転される財又はサ ービス	908,937	581,907	1,490,845
一定の期間にわたり移転され る財又はサービス	1,739,708	241,930	1,981,639
顧客との契約から生じる収益	2,648,646	823,837	3,472,484
外部顧客への売上高	2,648,646	823,837	3,472,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,419	15,265	16,684
計	2,650,065	839,102	3,489,168
セグメント利益又は損失(△)	28,548	△87,538	△58,989

(注)収益認識に関する会計基準の適用指針第95項に定める代替的な取扱いを適用することにより、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約については、一時点で移転される財又はサービスに含めております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△58,989
全社費用(注)	△204,172
四半期連結損益計算書の経常損失	△263,161

(注)全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報の記載から重要な変更はありません。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社グループでは生産実績を定義することが困難であるため「生産の状況」は記載していません。

②受注実績

当第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリング事業	3,813,489	73.4	6,321,223	59.3
パイプ・素材事業	1,349,896	141.6	2,086,762	104.5
セグメント間取引消去	△183,231	—	△202,963	—
合 計	4,980,153	81.6	8,205,023	66.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③売上実績

当第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリング事業	2,650,065	43.6
パイプ・素材事業	839,102	88.8
セグメント間取引消去	△16,684	—
合 計	3,472,484	50.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。